

N,N-ジメチルアニリン

1. 物質特定情報

名称	N,N-ジメチルアニリン
CAS No.	121-69-7
分子式	C ₈ H ₁₁ N / C ₆ H ₅ N(CH ₃) ₂
分子量	121.2
備考	

(日本語版 I C S C)

2. 物理化学的性状

名称	N,N-ジメチルアニリン	
物理的性状	特徴的な臭気のある黄色の油状の液体。空気に暴露すると茶色になる。	
沸点 ()	192 ~ 194	
融点 ()	2.5	
比重(水 = 1)	0.96	
水への溶解性	溶けない	
水オクタノール分配係数 (log Pow)	2.3	
蒸気圧 (kPa(20))	0.067	
相対蒸気密度(空気 = 1)	4.2	
20 での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気 = 1)	1.002	
引火点 ()	62	
発火温度 ()	371	
爆発限界 (vol%(空気中))	1 ~ 7	

(日本語版 I C S C)

3. 主たる用途・使用実績

用途	塩基性染料原料(オーラミン、マラカイトグリーン、メチルバイオレット、クリスタルバイオレット、メチレンブルー)、溶剤(アンスラキノン系アジンアクリドン、その他中間物)、有機ゴム薬品(加硫促進剤)、火薬、医薬品、感圧色素、農薬、エポキシ樹脂硬化剤、ポリエステル樹脂硬化促進剤、ビニル樹脂化合物重合用助触媒として使用される。 (13901) 水道では、イソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂 FRP ライニング材料及びビニルエステル樹脂 FRP ライニング材料の原料として使用されている。	
使用実績	名称	N,N-ジメチルアニリン

(H11)	使用量	-
	生産量	7 1 0 t (推定)
	輸出量	-
	輸入量	-

(13901)

4．現行規制等

水質基準値 (mg/l)	なし
監視項目指針値 (mg/l)	なし
その他基準 (mg/l)	薬品基準 ×、資機材基準 0.01、給水装置基準 ×
他法令の規制値等	
環境基準値 (mg/l)	なし
要監視項目 (mg/l)	なし
諸外国等の水質基準値又はガイドライン値	
WHO (mg/l)	なし
EU (mg/l)	なし
USEPA (mg/l)	なし

5．測定手法

PT-GC-MS 法、HS-GC-MS 法により測定できる。

PT-GC-MS 法による定量下限 (CV20%) は、0.5 µg/L である。

6．水質基準について

我が国では、原水の汚染の観点からは水道水質について特段の問題がないと考えられるものの、水道施設の資機材や給水装置からの溶出の観点から必要な場合には、水質基準は設定されていなくとも、その溶出に関して基準が設定されており、N,N-ジメチルアニリンについては、水道施設の技術的基準を定める省令において、資機材等の基準として、0.01mg/L 以下であることとされている。

水道水での検出状況等のデータは不足しており、今後知見が収集された段階で検討するのが適当である。

参考文献